

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 横浜丸魚株式会社
 コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,693	4.6	143	22.9	399	4.5	256	29.7
2019年3月期第3四半期	38,461	2.6	186	23.7	418	12.5	365	20.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 308百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 974百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	36.34	
2019年3月期第3四半期	51.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,943	12,900	61.6
2019年3月期	18,371	12,676	69.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,899百万円 2019年3月期 12,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				12.00	12.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.7	190	2.5	440	1.6	300	26.3	42.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,261,706 株	2019年3月期	7,261,706 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	194,572 株	2019年3月期	194,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,067,134 株	2019年3月期3Q	7,067,134 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

以上の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いている一方で、昨年10月からの消費増税に伴う景気の下振れ懸念もあり、また、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化等懸念事項も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、海洋環境の変化による大幅な漁獲量の減少、海外における水産物需要の増加に伴う取引価格の高騰に加え、相次いで襲来しました大型台風が集荷に与えた影響も大きく、特に千葉県を中心に被害は甚大であり、水産物販売事業にも大きな影響を及ぼし、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MMプラン4th Stage」の最終年度となります3年目にあたり、「原点回帰からの新たなる挑戦」をテーマとし、顧客密着型営業を展開し、グループ一丸の体制で邁進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,693百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,768百万円(△4.6%)の減収となり、また、営業利益は143百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ42百万円(△22.9%)、経常利益は399百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ18百万円(△4.5%)それぞれ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失88百万円等を特別損失に計上したこともあり、256百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ108百万円(△29.7%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は29,182百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,300百万円(△4.3%)の減収となり、営業損失も5百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ23百万円(前年同期 営業利益17百万円)の減益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は7,237百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ472百万円(△6.1%)の減収となり、営業利益も68百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ22百万円(△24.9%)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は91百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1百万円(△2.0%)の減収となりましたが、営業利益は66百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ0百万円(0.8%)の増益となりました。

(運送事業)

売上高は182百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ6百万円(3.6%)の増収となり、営業利益も15百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ2百万円(17.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、20,943百万円と前連結会計年度末に比べ2,572百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加370百万円、受取手形及び売掛金の増加1,896百万円、商品及び製品の増加212百万円によるものであります。

負債は、8,043百万円と前連結会計年度末に比べ2,348百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,453百万円、未払法人税等の減少62百万円によるものであります。

純資産は、12,900百万円と前連結会計年度末に比べ224百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加172百万円、その他有価証券評価差額金の増加35百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月17日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,100	2,471
受取手形及び売掛金	4,344	6,241
商品及び製品	1,384	1,597
その他	82	137
貸倒引当金	△513	△511
流動資産合計	7,399	9,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,254	1,164
土地	1,714	1,683
リース資産(純額)	77	75
その他(純額)	86	83
有形固定資産合計	3,132	3,007
無形固定資産		
ソフトウェア	140	218
その他	12	11
無形固定資産合計	152	230
投資その他の資産		
投資有価証券	7,581	7,686
長期貸付金	7	6
破産更生債権等	484	266
その他	55	53
貸倒引当金	△442	△242
投資その他の資産合計	7,686	7,770
固定資産合計	10,971	11,008
資産合計	18,371	20,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,890	5,343
未払法人税等	81	19
引当金	52	13
その他	333	344
流動負債合計	3,358	5,720
固定負債		
退職給付に係る負債	555	531
資産除去債務	25	25
繰延税金負債	1,466	1,482
その他	288	281
固定負債合計	2,335	2,322
負債合計	5,694	8,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	7,602	7,774
自己株式	△107	△107
株主資本合計	9,439	9,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,252	3,287
その他の包括利益累計額合計	3,252	3,287
非支配株主持分	△14	1
純資産合計	12,676	12,900
負債純資産合計	18,371	20,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	38,461	36,693
売上原価	35,748	34,049
売上総利益	2,713	2,644
販売費及び一般管理費	2,527	2,500
営業利益	186	143
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	225	246
その他	10	8
営業外収益合計	241	258
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	8	—
リース解約損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	9	3
経常利益	418	399
特別利益		
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	0	12
減損損失	—	88
特別損失合計	0	100
税金等調整前四半期純利益	472	298
法人税、住民税及び事業税	114	23
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	113	24
四半期純利益	359	273
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	365	256

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	359	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,333	35
その他の包括利益合計	△1,333	35
四半期包括利益	△974	308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△967	292
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	30,482	7,709	92	176	38,461	—	38,461
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,048	52	26	92	3,220	△3,220	—
計	33,531	7,762	119	268	41,681	△3,220	38,461
セグメント利益	17	91	65	13	187	△1	186

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△2百万円及びセグメント間取引消去1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	29,182	7,237	91	182	36,693	—	36,693
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,841	66	26	96	3,029	△3,029	—
計	32,023	7,303	117	279	39,723	△3,029	36,693
セグメント利益又は損失 (△)	△5	68	66	15	144	△1	143

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△2百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期累計期間において、報告セグメントに帰属しない全社資産の減損損失88百万円を計上しております。これは、共用資産の売却決定に伴う減損によるものであります。